

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 健福-50 ひとり親家庭等医療助成事業 <input type="checkbox"/> 支援部門				ザイムスコード及び個別事業名			
					74	ひとり親家庭等医療助成事業		
主管課	保険年金課		関連課	こども相談課				
分野名	健康福祉							
目標 (目標値)	ひとり親家庭の生活の安定及び自立支援による福祉の増進							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	48,329千円	48,868千円					
	(国・県)	20,084千円	22,849千円				指標と評価	
	(負担金等)	368千円	85千円				指標	
	(一般財源)	27,877千円	25,934千円				評価	
	人員配置数	0.5人	0.5人				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	
	人件費	4,706千円	5,006千円				目標値	実績値
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	53,035千円	53,874千円	H21対象者:1,568人				
	市民1人当 りの経費	300円	305円	20年度				
	対象者1人 当りの経費	33,823円	32,631円	21年度				
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			22年度				
				23年度				
				最終年度 (年度)				
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 平成20年度から神奈川県が一部負担金を導入した。鎌倉市は、現時点では導入の予定は無いが、 県内各市の状況を把握しながら対応を検討する必要がある。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 一部負担金導入の制度改正への対応や今後の方向性について、県を含めて他市町村と意見交換 を行った。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) レセプト点検等による医療費の適正化						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ①レセプト点検等の医療費の適正化 ②神奈川県での医療費助成改正に伴い、一部負担金導入に関して湯河原町が導入し市町村対応に差 が生じている。現在、他市町村での導入の情報は無いが近隣市の状況を把握しながら、市としての 対応を検討してゆく。						
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)					
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性			
B	有	経済力が弱いひとり親家庭への助成であり、経済的負担を緩和させるために制度は必要である。		B	有	ひとり親家庭等の生活の安定を支援する事業であり、今後も必要である。		
課長名		保険年金課長 相澤 昭弘		部名・部長名		健康福祉部 石井 和子		